

その歌声は天にあふれる

ガヴィン作 酒井駒子絵 野の水生訳 徳間書店

十四歳の少年ミーシャクは、周囲からばかにされ、実の父親からも家畜同然の扱いをうけている。そんな彼の心の支えは、グロスター大聖堂の天使だけ。ある日彼は、天使に生き写しの少女メリッサと出会う。そして彼女に憧れ、影から見守り続けることを決意した。

十八世紀の英国における、子どもたちの悲惨な境遇を、実在したコーラム養育院や音楽家ヘンデルなどと絡めて描く。音楽により救われ、音楽によって人生を取り戻した子どもたちの物語。

